



基本設計案①

「共働きテレワーク対応の暮らし」

B案

共働き夫婦を想定し、それぞれがテレワーク作業ができるように均等にワークスペースを設置。
同じ空間で互いを感じつつも、
干渉しすぎないような住戸を目指す

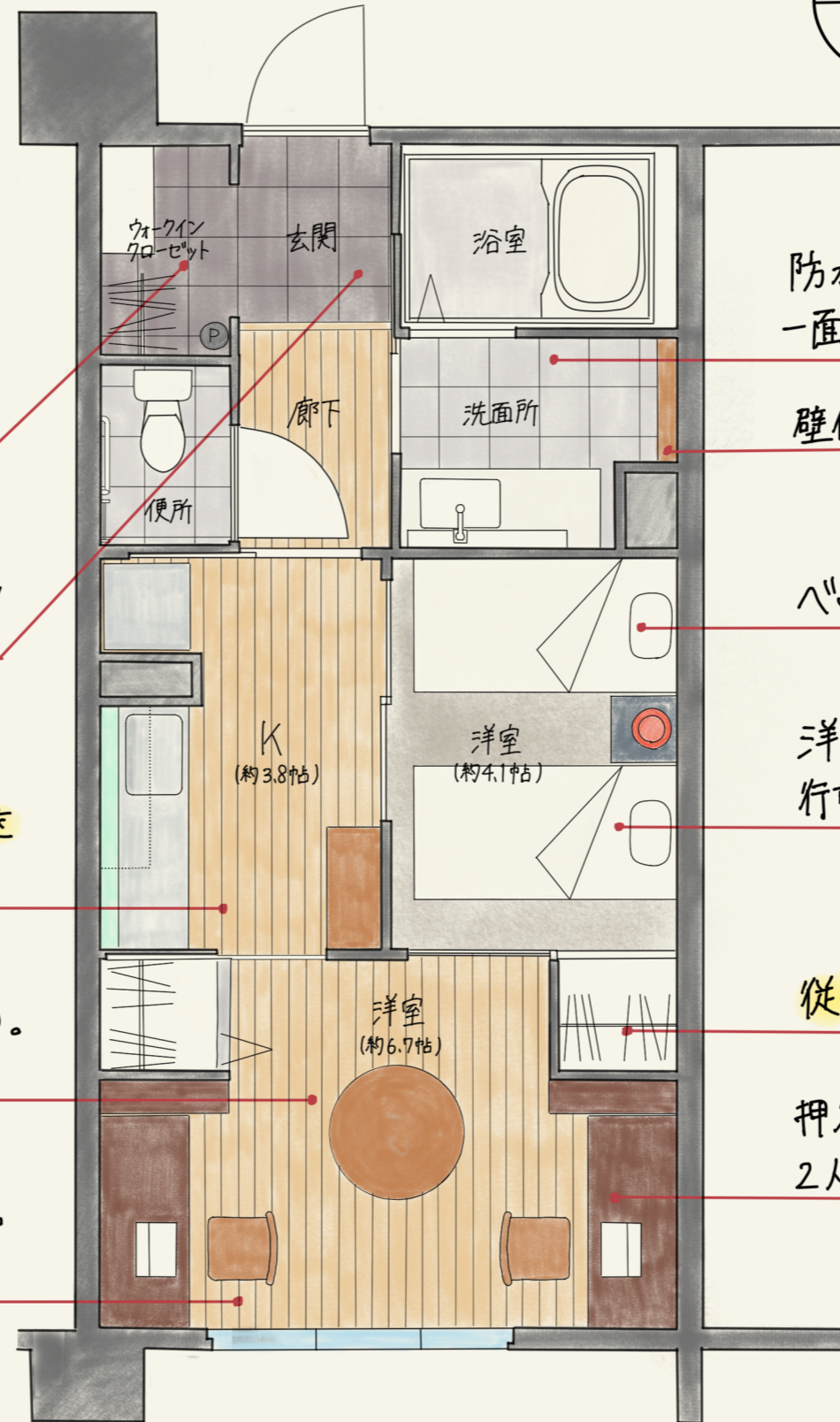
玄関先の広いウォークインクローゼットで収納力をカバー。
靴だけでなくコートやアウトドア用品も収納できる

玄関には全身鏡をつける。
ウォークインクローゼットに収納している靴やコートも
合わせてコーデをチェックできる。

従来のキッチンの幅を活かし、流し台の対面に食器棚を設置。
その上に電子レンジやトースターを置くことで、限られたスペースを
有効に使える。

中央の円卓は食事以外に打ち合わせなどにも活用できる。
利用時はそれぞれの椅子を移動させて使う。

南面の和室はリビングとして使用される可能性が高い。
フローリングに変え、現代の生活に対応させる。



防水パンを移動させ、カウンター幅を拡大。
一面を鏡張りにし、2人が並んで使用できるように。

壁付け戸棚で収納力UP

ベッドのヘッドボードにはコンセントやナイトライトで快適に

洋室にはシングルベッドを2台設置。
行動時間が異なっても相手の邪魔をしない。

従来のクローゼットを活かす。

押入れを撤去した凹みにデスクと書架を設置。
2人に均等なワークスペースを与える。

S=1/50